

# 公民館だより なかがわ

第503号

令和6年10月1日  
発行 中川地区公民館  
TEL.Fax : 679-2501

## 参加者募集

### 「中川福祉村大運動会」

日時：10月13日（日）9：00～  
場所：中川地区公民館前 広場  
対象：中川地区民  
事前申込の必要な競技は締切りましたが、当日参加可能な競技もありますので、ぜひお越し下さい！！  
※当日参加可能な競技

OXクイズ  
紅白まり入れ  
村長とジャンケン大会



### 【一般講座】

### 「フラワーアレンジメント教室」

日時：11月1日（金）10：00～12：00頃  
場所：中川地区公民館 集会室  
講師：つかさ花店さん  
持ち物：花切はさみ、飲み物  
材料費：2,000円  
対象：中川地区民  
定員：先着15名程度 定員になり次第受付終了



※昨年の展示作品

※出来上がった作品は、福祉村文化産業まつり【11月2日（土）～3（日）】への出展を  
お願いいたします。

お申し込み先：中川地区公民館（☎679-2501）



### 「中川福祉村文化産業まつり」

日時：11月2日（土）13：00～ 農産物品評会・即売会、バザー 抽選会は14：00～  
11月3日（日）8：30～ 農産物即売会、バザー 抽選会は9：30～  
場所：中川農業者等トレーニングセンター

※一般講座のフラワーアレンジ、地区民、小中学校、福祉施設の作品展示もあります。

※詳細は、各戸配布チラシをご覧ください！

### 10月・11月 行事予定



10/1(火) 市報、館報  
10/2(水) 三者会、会長会、公民館運営協議会  
10/8(火) 一般講座「第2回スマホ教室」  
10/11(金) パソコンクラブ  
10/13(日) 中川福祉村運動会  
10/15(火) ウォーキング教室（職員不在時間あり）  
10/16(水) 福祉村文化産業まつり実行委員会  
10/18(金) 一般講座「秋の寄せ植え教室」  
子ども会育成会  
10/21(月) 中川地区地域推進会議  
10/22(火) そば打ち教室  
10/23(水) グラウンド・ゴルフ愛好会大会  
10/25(金) 粋いき倶楽部（職員不在時間あり）

11/1(金) 市報、館報  
三者会・会長会  
一般講座「フラワーアレンジメント教室」  
11/2(土) 福祉村文化産業まつり  
11/3(日) 福祉村文化産業まつり  
11/8(金) 粋いき倶楽部（職員不在時間あり）  
11/11(月) 自衛消防訓練  
11/12(火) ～13(水) 会長会研修旅行  
11/15(金) パソコンクラブ  
11/16(土) 主事部・体育部反省会  
11/18(月) ウォーキング教室反省会  
11/19(火) そば打ち教室  
11/22(金) 単発講座「料理教室」  
11/25(月) グラウンド・ゴルフ愛好会反省会  
11/29(金) 市報、館報  
防犯協会中川支部研修会

グラウンド・ゴルフ愛好会（月曜日）  
10/7、16（水）、21、23（大会）、28  
詩吟教室（火曜日） 10/8、22、29

ラージピンポン愛好会（木曜日）10/3、10、17、24、31  
スポーツ麻雀愛好会（木曜日）10/3、10、17、24、31

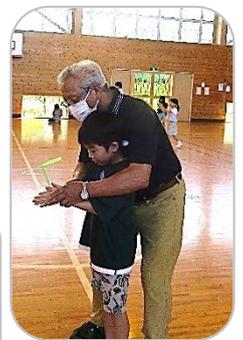
# 中川地区防犯診断

8月30日(金)、今年も安全で安心して暮らせる中川地区を目指し、防犯診断が行われました。今年「高野地区(下)」を対象に診断日を公開して行い、自動車、バイク、自転車の施錠確認を調査しました。診断は4班に分かれて164台チェックし、施錠不良29台という結果となりました。常日頃の心がけが大切です。今後も防犯意識を高く持ち、安心安全な住みよい高野地区また、中川地区にしていければと思います。



## 粋いき倶楽部「昔遊び交流会」

9月4日(水)、中川小学校1・2年生と中川粋いき倶楽部会員による「昔遊び交流会」が中川小学校にて開催されました。けん玉、お手玉、コマ回しのグループに分かれ、子供たちは遊びたいところに行って会員さんたちと一緒に遊びました。一つのお手玉を上にあげている間にもう一つのお手玉を左手から右手に渡すのが難しくスムーズにできなかった子も、会員さんに教えてもらって最後には上手にできるようになったり、コマ回しもあきらめずに練習して「回ったよ!」と教えてくれた子もいました。また、紙ひこうきを折って体育館に移動しみんなで飛ばしました。すごく飛びひこうきの作り方を会員さんに教えてもらって真剣に折っている子もいました。最後に、プラトンボ(プラスチックの竹とんぼ)をプレゼントし、最初はなかなか飛ばせない子もいましたが、やり方を教えてもらい、みんな高く飛ばして楽しんでくれました。昔ながらの遊びを通してふれあうことで、会員さん、子どもたち両方のたくさんの笑顔を見ることができました。



## ウォーキング「悠創の丘」



9月6日(金)、第5回ウォーキング教室は『悠創の丘』に行ってきました。朝からじめじめした暑さでしたが、心地良い風が吹いてウォーキング日和となりました。テラポイトの高瀬さんより、歩き方、楽しみ方を教えてもらい、時々草木の名前を確認しながらゆっくりと歩きました。良く手入れされたたくさんの竹林や山形市を一望できる「感動の丘」からの景色がとてもきれいで、贅沢な時間を過ごすことができました。今回は「悠創の丘」の一部しか行けなかったのも、また今度残りの場所も行きたい!!との声も聞こえてきて、次への期待が膨らむとっても素敵な場所でした。





# 平泉・松島歴史探訪

9月10日(火)～11日(水)、中川シニア泊研修旅行が行われ、総勢24名で平泉・松島方面に行ってきました。朝早くの集合となりましたが、皆さん元気に出発しました。バスの中でも楽しそうな話し声、笑い声が絶えまなく聞こえていました。長い移動を経て、最初は世界遺産中尊寺へ。国宝・重要文化財の数々をゆっくり堪能しました。次に、宮城県登米市「みやぎの明治村」へ。教育資料館では当時の器具なども展示されていて、皆さん昔を懐かしみました。その後、南三陸温泉「ホテル観洋」へ移動し豪華な夕食を楽しみ、1日目を終了しました。

2日目は、最初に、南三陸町震災復興祈念公園へ行き、祈りの丘から旧防災対策庁舎を見ると当時の津波の高さを感じとることができました。この出来事を忘れずに継承し教訓にしていかなければならないという強い思いも伝わってきました。その後、蒲鉾本舗高政でたくさんお土産を購入し、最後に松島に移動し、それぞれ散策して自由時間を楽しみ、帰路へと着きました。暑いくらいでしたがお天気も良く、とっても楽しい研修旅行となりました。ご参加下さいました皆様、ありがとうございました。



## 【一般講座】「第1回 スマホ教室」



9月17日(火)、ソフトバンクさんより講師3名に来ていただき「第1回スマホ教室」が開催されました。デモ機を使用しての講習で、まだスマホを持っていない方の参加も可能な基本の講座にプラスして、防災アプリの使い方も教えていただきました。とてもわかりやすい説明で、参加者はメモを取りながら熱心に聞いて実践していました。とはいえ、「すぐ忘れてしまう～」との声もあり、1日の講習で覚えられるものではありません。公民館でも定期的に講習会を開催していきたいと思っておりますので、たくさん参加して、たくさんスマホに触れて、習ったことをどんどん使ってみましょう!!



## 中川小学校1・2年生の生活科「わたしの町はっけん」の学習のため来館

9月17日(火)、中川小学校の1・2年生が、生活科「わたしの町はっけん」の学習で、自分の住んでいる地域のことを知るために、公民館に来てくれました。この日は、公民館で「スマホ教室」を開催していたので、どんなふうに事業をしているのか見学してもらいました。見学の後は、子どもたちが気になる点や知りたいことに公民館館長はじめ職員が答えていきました。「どんな仕事をしているの?」「ここでいつも仕事をしているの?」「会議もするの?」などなどたくさん質問を考えてきてくれて、職員が答えたことを一生懸命メモしていました。みんなが楽しんでくれるのが一番嬉しいので、いろんな公民館事業にたくさん参加して楽しんで下さい!!と最後にお話して終了となりました。また来てね!!



### おしらせ

中川地区公民館にもフリーWi-Fiが開設されました。ぜひご利用下さい。



「昭和考、問わず語り（その44）」

甲石地区 高橋 正之

満州国は、満鉄が中核となつて繁盛を続けますが、将来の大戦に備え関東軍主導によつて「産業開発五力年計画」を策定して計画を進めます。

〈満鉄に代わり満業が重工業を進める〉

関東軍は、財閥を嫌い財閥資本に頼らない統制的産業発展を構想した。関東軍から囑望され渡満した岸信介も同意見であつた。

しかし資本なくして産業開発はあり得ない。岸は、昭和十二年二月、昭和初頭の新興財閥・日産(株)を満州国に引き入れた。日産の総帥・鮎川義介が遠縁に当たるといふ人脈が幸いした。

日立製作所、日産自動車、日本化学工業など百三十社、従業員十五万人の日産は、満州に進出して満州重工業開発、いわゆる満業と改称した。資本金一億五千万円、同額の現物出資を満州国が行つた。満州国の現物出資とは、満鉄から取り上げた鉱山や工場である。現実には関東軍が取り上げた。

かつての巨大コンツェルン満鉄は、鉄道部門と撫順炭鉱と調査部門だけに縮小された。これに反し、昭和製鋼所(鞍山製鉄所)、満州炭鉱、東辺道開発、満州鉱山、安奉鉱業、満州採金、満州軽金属、満州マグネシウム鉱業、同和自動車鉱業、満州飛行機製造など、主だった重工業会社が満業の傘下に入った。(写真①は重工業の様子)

〈計画スタート直後日中戦争が勃発〉

「五力年計画」がスタートした直後の昭和十二年七月七日盧溝橋事件(日中戦争)が勃発した。参謀本部作戦課長の職にあつた石原莞爾少将は、事件の不拡大を唱

えた。

しかし現実には、日中戦争の拡大は「五力年計画」の実行には幸いした。戦線が拡大するほど鉄や石炭、電力、自動車、飛行機がいくらあつても足りなくなり、当初の投資計画もたちまち二倍以上になつた。計画は、自動車は難しかったが鉄と石炭は目標を達成した。

電力は、「五力年計画」以前から力を入れて開発され急成長した。満州最大の豊満ダム(吉林東二十四キロの地点)は、五力年計画以前(昭和九年)から建設に入り、昭和十七年に六割以上が完成し翌年五月から発電を開始したが、すべてを完成させる前に敗戦を迎えた。

〈中国人を強制労働に従事させる〉

重工業の現場の労働者は、現地中国人に依存した。それだけに中国人の犠牲は酷いものがあつた。撫順炭鉱をはじめ各地に残されている「万人坑」といふ名の中国人労働者の墓場もあつた。

「五力年計画」に伴う労働力の確保は、昭和十年から満州労工協会を組織し(十七年には満州労務興亜会と改称)、労働者を一括して受け入れ、各企業に分配した。それまで満州国に自然流入していた中国人だけでは足りず、昭和十五年ころからは強行連行という手段も実施された。(写真②は中国人労働者の様子)

流入労働者数は、十四年以後、ほぼ百万人の水準を前後したが、昭和十五年の百三十一万人のうち四十二万人は強行連行であつた。

〈満州国で稼働した日本人〉

以上の結果、多くの日本人が満州国に渡つたが、その数は次のような膨大な数に上つた。(この人数には、後述する日本からの開拓民の数も含まれている。)

○日本人の増加趨勢

	昭和9年	昭和10年	昭和11年	昭和12年	昭和13年
満州国	23万3千人	32万2千人	37万6千人	41万8千人	52万2千人
関東州	15万4千人	15万9千人	16万1千人	16万5千人	18万人

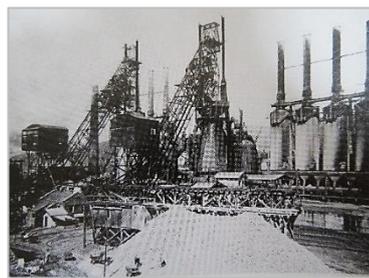
注：関東州とは、中国遼東半島南端にあつた日本の旧租借地。

○昭和13年末の満州国

総人口	3,862万人
人種別内訳	
・漢満人	3,578万人
・朝鮮人	105万人
・蒙古人	101万人
・日本人	52万人
・回回族	17万人
・露西亞人	5万人
・その他外国人	9千人



(写真②)



(写真①)



(写真③)

〈満州開拓移民の状況〉

日本は、満州国の建国と歩調を合わせ満州への移民政策を進めた。

この開拓移民は、拓務省の管轄であつたが、実際の募集は在郷軍人会が行つた。試験移民であつたので、全国一律の募集ではなく「第一、第八、第十師管、すなわち現に満蒙に出動している東北師団の管区に一致させて、茨城、栃木、群馬、長野、新潟、福島、宮城、岩手、秋田、山形、青森の十一県」からの限定募集で行われた。

開拓移民の第一陣は、以上の募集に応募した四百二十三人が昭和七年十月二日明治神宮で結団式を行ったのち渡満した。この移民団は、奉天に到着後、関東軍より武器を与えられ、武装した開拓団(写真③)となつた。その名を第一次武装開拓団と呼ばれた。

この開拓団は、奉天で別系列の移民団六十八人と合流した。この移民団は、加藤完治が教育訓練して渡満したグループであつた。(以上「満州帝国の興亡」新人物往来社刊より。写真も同じ)

(次回以降は、本県と関わりが深かつた加藤完治による開拓移民について記述する予定です。)